

令和7年度「地域めぐり懇談会」意見交換の記録

開催日 12月3日(水) 10時30分から12時00分

会場 別海町西公民館

参加者 9人

全体会「議員定数と議員報酬について」

- ・定数はずっと16名なのか。

(議員発言) 2011年当時18人の定数で報酬が19万3千円だった。2014年の見直しにより定数が減となり、報酬は増額となった。

- ・2015年に2人減った理由はなんなのか。

(議員発言) 2014年の見直しの際の2名減の理由は、人口減が顕著であること、町では行政改革をずっと続けていたので、議会も必要ではないかと考えたこと、議員定数を減らしても議会の機能は低下しないという結論から定数減とした。

総務産業分会「ふるさと納税、OTOMONO、ふるさと交流館再整備」 参加者 7人

【ふるさと納税】

- ・海産物(サケ・エビ・ホタテ)の不漁が続き、返礼品の安定供給と制度継続が心配である。
- ・ホタテ稚貝が少なくなっており、将来的に返礼品として提供できるのか不安。稚貝を自前で確保する方法はないのか。
- ・ふるさと納税の基金の使い道が見えにくい。町民への還元を明確に示してほしい。

【OTOMONO】

- ・アプリの登録方法がわからず利用できない。サポート体制の場所が不明である。
- ・制度自体を知らない人が多く、広報が不足している。
- ・高齢者向けの設計や支援をもっと手厚くしてほしい。

【その他】

- ・土日を含め路線バスの利用がしにくく、免許返納が進まない。
- ・観光時期の週末など需要が高い時期だけでも柔軟な運行体制をつくれぬか。
- ・ライドシェアを導入してほしい。
- ・舗装道路の痛みが激しく、修繕が追いついていない。
- ・計根別着陸場の利用があるので、西春別市街を防音エリアに含めるよう求めたい。
- ・計根別着陸場で立木伐採により防風機能が弱まり、防風設備整備が必要。
- ・地域おこし協力隊の人数や任期、上限がわかりにくく、活動内容を住民にもっと見えるようにしてほしい。

- ・地域おこし協力の働きが地域に伝わりにくいため、成果の共有を進めてほしい。
- ・秋あじまつりが開催できていないのはさみしい。
- ・民間事業であっても住民に不安を与える可能性がある場合は事前説明を徹底してほしい。

福祉文教分会「子ども・子育て支援、高齢者支援」 参加者 2人

【子ども・子育て支援】

- ・保育園の給食も無償化してほしい。
- ・小中学校区の部活バスがほしい。
- ・子どもの人数は減っているのに保育士の数は足りていない。負担過多で疲弊し、離職にも繋がっている。国の基準が細かくなっているのも一因では。
- ・実情を見た対策をしないと将来もっと保育士不足になる。預かっている幼児への質の高い保育はできない。
- ・子どもの保育と高齢者支援や介護支援の複合型施設はできないか。
- ・保育園入園セット、出産育児セットなど別海町独自の支援はできないか。

【高齢者支援】

- ・介護用品がどこで買えるかわからない。(杖、ベッド、リース用品など全般) 介護認定がない人は探せない現実。高齢者は自分で情報を探せない。介護認定に該当しない人、その家族は自分で探さないとどんなサービスがあるかわからない。

【その他】

- ・安心して暮らせる地域づくりが必要。
- ・危機こそチャンス。